

■ 日時

令和7年7月22日（火） 10:00～11:30

■ 参加者

委員11名中10名が出席し、定足数を満たしたため、本会は成立した。

■ 次第

- ・ 開会
- ・ 1学期の学校生活の様子について
- ・ 令和7年度防災教室について（熟議）
- ・ 閉会

■ 校長より

- ・ 1学期における児童の生活や学習の様子について報告した。
- ・ 2学期以降の主な行事予定について説明した。

■ 防災教室について（説明）

担当者より以下の内容について説明があった。

- ・ 昨年度は、小金井第二小学校の児童および保護者を対象に、学校運営協議会主導で防災教室を開催した。
- ・ 現在、小金井第二小学校の学区には避難所運営のための組織が存在していない。
- ・ 本年度も、避難所運営体制構築の前段階として、防災教室の継続実施を検討している。
- ・ 他校（小金井第三小学校、南小学校）でも同様の取り組みが行われていると聞いている。
- ・ 昨年度の参加者からは、「開催して良かった」との前向きな意見が多く寄せられた。

■ 熟議（意見交換）

- ・ 緊急時の具体的な行動を体験的に学ぶ訓練を実施したい。
- ・ 備蓄品の内容や保管状況について話し合いたい。
- ・ 避難所運営協議会の立ち上げや組織づくりを検討したい。
- ・ 避難所での実体験を通じて、現場の課題を把握したい。
- ・ 小金井市の防災計画における学校の位置づけについて確認したい。
- ・ 防災教室の内容や目的を広報等で地域に周知していく必要がある。
- ・ 教職員が勤務している時間帯と不在時の災害対応の違いについて考慮すべき。
- ・ 避難場所でのスペース分けや受け入れ方法についても検討が必要。
- ・ 中学生の力は災害時に必要であり、地域ボランティアとしての育成が求められる。
- ・ 被災経験者による実体験の講話を聴く機会を設けたい。
- ・ マンホールトイレの組立体験を通じて、実践力を養いたい。
- ・ AEDの操作など、安全に関する体験は参加者全員が行えるようにしたい。

- ・ 自衛隊による炊き出し体験なども取り入れられると良い。
- ・ 防災運営の中心として学校が機能し、地域コミュニティとの連携を図ることが重要である。
- ・ 家庭から避難所まで実際に歩く体験も有意義である。
- ・ 防災運営に関わる人材の確保と育成が必要。
- ・ 初期消火体験車・はしご車・起震車・消火訓練などの体験型プログラムを実施したい。
- ・ 子どもたちが主体的に関わり、楽しみながら学べる工夫が求められる。
- ・ 家庭内の備蓄を考えるきっかけとなるような内容にしたい。
- ・ 高学年の児童や中学生が参画することで、より深い学びとなる。
- ・ 小金井第一中学校との役割分担や活動の棲み分けについても整理が必要である。
- ・ 実施日案として、12月13日（土）、20日（土）、2月14日（土）の中から検討。
- ・ 臨時防災会議は、9月9日（火）14時より家庭科室で開催予定。

#### ■ 次回開催予定

- ・ 第3回 令和7年10月 7日（火） 午前10時～
- ・ 第4回 令和7年11月18日（火） 午前11時～
- ・ 第5回 令和8年 2月 3日（火） 午前10時～